

2023 年 2 月 2 日

報道関係者各位

特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」

“Arte Popular”: The Creative and Critical Power of Latin Americans

2023 年 3 月 9 日(木)～5 月 30 日(火)

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)では、特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」を2023年3月9日(木)から5月30日(火)まで開催します。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。



木彫(ヤギのナワル)／メキシコ合衆国 (写真:六田知弘、六田春彦)

あふれる色とはじける形

ラテンアメリカでは、民衆のつくる洗練された手工芸品を「民衆芸術」とよびます。北はメキシコから南はアルゼンチンまで、古代文明の遺物から現代のアート・コレクティブの作品まで、国立民族学博物館が所蔵する作品を中心に約 400 点のいろいろな民衆芸術作品を展示します。

特別展では、なぜラテンアメリカの民衆芸術はこれほど多様なのかという問いを掘り下げます。先コロンブス時代以来の文化混淆(こんこう)の歴史、芸術として洗練されていった過程、そして現代の制作者の批判精神の3点に焦点をあて、その答えを探します。

文化の多様性をはぐくむためには何が大切か。ラテンアメリカのさまざまな民衆芸術に触れながら考えてみましょう。

【民衆芸術とは？】

民衆芸術とは、ラテンアメリカ諸国の主要言語であるスペイン語でアルテ・ポプラル(arte popular)とよばれる造形芸術のひとつのジャンルである。具体的には陶器、木彫、人形、仮面、織物、刺繍、絵画、版画、雑貨などが該当し、人びとのくらしに役立つ生活用品から収集家向けの装飾品まで多様な作品がふくまれる。こうした作品は、現地では手工芸品を意味するアルテサニア(artesanía)とよばれることもあるが、その美的価値を強調する文脈で、民衆芸術という表現が用いられる。

■ 展示概要

民衆芸術の多義性と歴史性

民衆芸術は造形芸術のひとつのジャンルですが、なぜとても多様なのでしょうか。それは、この言葉の意味を巡ってさまざまな解釈が存在するからです。本展覧会では、民衆芸術の3つの意味を抽出し、それぞれの意味で民衆芸術が成立した歴史過程に焦点をあてます。

・ラテンアメリカ形成の過程

第1に民衆芸術には諸文化の伝統的な造形表現という意味があります。この意味での民衆芸術は、多様な文化からなるラテンアメリカという地域が形成された歴史の中で誕生したといえるでしょう。民衆芸術は岩絵などの形でアメリカ大陸の先史文化とともに始まり、メソアメリカ文明とアンデス文明の成立によって土器、織布、石彫、貴金属製品など優れた作品が作られるようになりました。1492年のコロンブスの航海以降は、ヨーロッパ、アフリカ、アジアから多くの人びとがアメリカ大陸に渡ってきました。そしてこうした外来者の文化と先住民族の文化とが出会い、それぞれの文化の造形表現は、技術的にも意匠的にも、相互に影響しあい、複雑な混淆と変容が生まれました。こうした過程をへて形成された今日の民衆芸術は、基本的にさまざまな文化の影響からなる混合物です。そのため民衆芸術の伝統性とは、ある文化の成員の間で継承されてきた一定の表現様式を意味するものの、それは絶えず変化する可能性をもつものなのです。



仮面／ブラジル連邦共和国

・芸術振興の過程

第2に民衆芸術には、国民の芸術という意味があります。この意味の民衆芸術は、20世紀前半にメキシコとペルーで開始された芸術振興政策のなかで提唱されました。両国政府は、国民文化の高揚手段として国内各地でつくられる手工芸品に着目し、それらを民衆芸術と命名して、芸術としての評価を確立しようと試みました。展覧会の開催、専門の博物館や行政機構の整備、優秀作品の表彰、商業化の支援など、幅広い施策を通じて民衆芸術は振興されました。そこから生まれた名品は、世界のコレクターの注目を集めるようになり、ラテンアメリカの民衆芸術は、芸術のひとつのジャンルとして国際的に知られるようになります。また民衆芸術への関心はラテンアメリカの他の国にも波及し、エクアドル、チリ、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ベネズエラなどでは民衆芸術を展示する博物館が開館しました。



木彫(ヤギのナワル)／メキシコ合衆国

・記憶と抵抗の過程

民衆芸術の第3の意味は、市民による批判精神の表現です。20世紀後半のラテンアメリカでは、軍事政権による人権弾圧、債務危機による政府の機能不全、新自由主義経済による格差の拡大などを背景に、民主化や人権尊重などを求める社会運動が活発化しました。それにともない、暴力を記憶し、権力による弾圧に抵抗するための視覚的な戦略として、政治的な民衆芸術作品が制作されるようになりました。こうした作品を民衆芸術とよぶようになったのはラテンアメリカでも比較的最近のことですが、現代の民衆芸術を考える上では欠かすことができない視点です。



アルピジェラ「反テロリスト法に否を2」／チリ共和国／大島博光記念館蔵

以上3つの意味の民衆芸術は、それぞれ固有の歴史過程をもっています。重要なのは、2023年の現在、いずれの過程も継続中であることです。こうした異なる歴史過程の併存が現代の民衆芸術の多様性を生み出しているといえるでしょう。本展覧会では、上記の3過程をとおして民衆芸術の多様性を考えます。

■ 展示構成

第1章 民衆芸術と出会う

- 1) 儀礼用品
- 2) 娯楽用品
- 3) 実用品
- 4) 装飾品

第2章 民衆芸術の誕生：ラテンアメリカ形成の過程

- 1) 先コロンブス期の遺産
- 2) 先住民族の世界観
- 3) キリスト教の展開
- 4) アフリカ系の人びとの創造力
- 5) アジア文化の影響

第3章 民衆芸術の成熟：芸術振興の過程

- 1) 国民文化としての民衆芸術
- 2) 民衆の世界
- 3) 描かれた民衆

第4章 民衆芸術の拡大：記憶と抵抗の過程

- 1) 暴力を忘れない
- 2) 不正義に抗して
- 3) 文化をはぐくむ

第5章 ラテンアメリカ世界の多様性



飾りヒョウタン(ジャングル)／
ペルー共和国

(写真：六田知弘、六田春彦)



モラ(飾り布)／パナマ共和国

(写真：六田知弘、六田春彦)



インフォメーションスポット「REPASO」を設置

「REPASO」とはスペイン語で「復習する、見直す、レビューする」の意味です。タッチパネルクイズや各地域の風景写真スライドショーなど、あらためてラテンアメリカの基本情報を見直せるコーナーとして会場内に3ヶ所設置します。

■関連イベント

※各イベントの申込み方法や詳細につきましては、みんぱくホームページをご確認ください。
※この他にもイベントを予定しております。

みんぱくゼミナール

「民衆芸術——ラテンアメリカの人びとの創造力と批判力」

会 場 本館第4セミナー室 他
日 時 3月18日(土) 13:30～15:00 (13:00 開場)
講 師 鈴木 紀(国立民族学博物館 教授)
定 員 180 名
参加方法 参加無料／事前申込制(先着順)



メキシコ、サンアントニオ・アラソラ村

「記憶と抵抗のメディアとしての民衆芸術」

会 場 みんぱくインテリジェントホール(講堂)
日 時 4月15日(土) 13:30～15:00 (13:00 開場)
講 師 鈴木 紀(国立民族学博物館 教授)、酒井朋子(京都大学 准教授)、
細谷広美(成蹊大学 教授)※オンライン登壇、山越英嗣(都留文科大学 准教授)
定 員 400 名
参加方法 参加無料／事前申込制(先着順)

みんぱくウィークエンド・サロン——研究者と話そう

研究者が展示や研究についてお話しします。

「メキシコ絵画と民衆芸術」

会 場 本館展示場(ナビひろば)
日 時 4月2日(日) 14:30～15:00 (14:00 開場)
話 者 鈴木 紀(国立民族学博物館 教授)
定 員 なし(ご自由に参加いただけます)
参加方法 参加無料(要展示観覧券)
内 容 特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」に関連し、20 世紀前半のメキシコ絵画についてお話
します。リベラ、オロスコ、シケイロスなどの壁画やフリーダ・カーロの絵画は民衆芸術
とどのような関係にあったのか、メキシコ国民文化の形成という観点から考えます。

「メキシコ、オアハカの版画運動」

会 場 本館展示場(ナビひろば)
日 時 4月30日(日) 14:30～15:30 (14:00 開場)
話 者 長崎由幹(映像技術者／PUMPQUAKES)、清水チナツ(インディペンデント・キュレーター／
PUMPQUAKES)、鈴木 紀(国立民族学博物館 教授)
定 員 なし(ご自由に参加いただけます)
参加方法 参加無料(要展示観覧券)
内 容 2006 年、オアハカ州政府への大規模な抗議運動に連帯した美大生たちは、民衆の声を多
様な版画で表現し、路上に張り巡らせました。以来、オアハカ版画運動は実践のなかで受
け継がれ、アーティストたちは日々、表現し続けています。その運動の一端を紹介します。

ワークショップ

「モラ ― 色紙を重ねて、先住民族グナのアート体験」

- 会場** 本館第3 セミナー室、特別展示場
- 日時** 4月8日(土)、5月3日(水・祝) 各日 13:00～15:30 (12:30 開場)
- 講師** 鈴木 紀(国立民族学博物館 教授)
- 定員** 各日 13 名(予定)
- 参加方法** 参加費 500 円(大学生・一般の参加者は要特別展観覧券)
事前申込制(先着順)
- 内容** 南北アメリカ大陸の境界に位置する国、パナマの先住民族グナは、何枚もの布を重ねて「モラ」という手芸を制作します。動物や植物、幾何学模様をモチーフにした色あざやかなモラは、リバースアププリケという技法で作られます。ワークショップでは色画用紙を用いてモラのデザインに挑戦します。



モラ(完成イメージ)

研究公演

「ペルーアンデスの民衆の歌」

- 会場** みんなくインテリジェントホール(講堂)
- 日時** 4月22日(土) 14:00～15:40(13:30 開場) ※チラシの情報から時間変更あり
- 出演** イルマ・オスノ(ペルーアンデス地方の歌手)
笹久保伸(ギタリスト)
- 司会** 鈴木 紀(国立民族学博物館 教授)
- 解説** 細谷広美(成蹊大学 教授) ※オンライン登壇
- 定員** 400 名
- 参加方法** 参加無料(要展示観覧券)／事前申込制(先着順)
- 内容** ペルー南部のアヤクーチョ県出身の歌手イルマ・オスノがアンデスの民衆の歌を歌います。共演はアンデス音楽と現代音楽を演奏するギタリストの笹久保伸。日本では聴く機会の少ないペルー・アヤクーチョ地方のアンデス音楽をお届けします。



イルマ・オスノ



笹久保伸

みんなく映画会

みんなくワールドシネマ「ラ・ヨローナ 彷徨う女」

会 場 みんなくインテリジェントホール(講堂)
日 時 5月27日(土) 13:30~15:55 (13:00 開場)
上映作品 「ラ・ヨローナ 彷徨う女」2018年(日本語字幕あり)
解 説 鈴木 紀(国立民族学博物館 教授)
司 会 菅瀬 晶子(国立民族学博物館 准教授)
定 員 350名
参加方法 参加無料(要展示観覧券)／事前申込制(先着順)
内 容 グアテマラ内戦時に起きた、先住民の大量虐殺。その戦争責任から逃れ続ける元将軍エンリケは、夜ごと聞こえる女性の泣き声に脅(おびや)かされていました。恐れをなした使用人たちが去った大邸宅に、年若い先住民の女性アルマがあらたな使用人としてやってきます。それは過去の罪を暴く、恐るべき復讐劇の幕開けでした。



©COPYRIGHT LA CASA DE PRODUCCIÓN
 - LES FILMS DU VOLCAN 2019

友の会講演会

第536回友の会講演会「ラテンアメリカの民衆芸術——キュレーションの挑戦」

日 時 5月6日(土) 13:30~15:00(13:00 開場)
講 師 鈴木 紀(国立民族学博物館 教授)
聴講方法 ①本館第5セミナー室(定員90名)
 ②オンライン(ライブ配信)
参加方法 事前申込制／先着順(会員の方は会場参加の場合、事前申込不要)
 友の会会員:無料、一般(会場参加のみ):500円
 友の会ホームページ内、第536回友の会講演会受付フォームより
<https://www.senri-f.or.jp/528tomo/>
お問い合わせ 国立民族学博物館友の会(千里文化財団)
 Tel:06-6877-8893
内 容 特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」ができあがるまでのキュレーションの試行錯誤の過程についてお話しします。1)展覧会のタイトルと章立てがどのように決まったのか、2)みんなく(民族学博物館)の収蔵資料と他組織からの借用資料はどのように選択されたのか、3)教員、事務職員、展示デザイナー、ポスター・チラシデザイナーのチームワークなど、普段はあまり語られることのない展覧会の裏話を披露します。

【新型コロナウイルス感染症に関するみんなく(民族学博物館)の主な取り組みのご紹介】

※本館では安心してご来館いただくための取り組みをおこなっています。

- ・スタッフは、マスクを必ず着用します。
- ・館内各所に手指用のアルコール消毒液を設置しています。
- ・館内の換気の強化をおこなっています。

その他の取り組み等はこちら

https://www.minpaku.ac.jp/aboutus/covid_19_torikumi/kanran



2023年2月現在

■開催概要

- 展覧会名** 特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」
会場 国立民族学博物館 特別展示館
会期 2023年3月9日(木)～5月30日(火)
開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 水曜日(ただし、5月3日(水・祝)は開館、8日(月)は休館)
観覧料 一般 880円(600円) 大学生 450円(250円) 高校生以下無料
 ※本館展示もご覧いただけます。
 *()内は、20名以上の団体、大学等(短大・大学・大学院・専修学校の専門課程)の授業でご利用の方、3ヵ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書等)。
 *障がい者手帳をお持ちの方は、付添者1名とともに、無料で観覧できます。
- 主催** 国立民族学博物館
協力 大島博光記念館、公益財団法人千里文化財団、国立歴史民俗博物館、UBC人類学博物館(バンクーバー、カナダ)
後援 日本ラテンアメリカ学会、民族芸術学会

実行委員長: 鈴木 ^{もとい} 紀 (国立民族学博物館 教授)

国立民族学博物館、総合研究大学院大学教授。専門はラテンアメリカ文化論、開発人類学、博物館展示学。1959年東京都生まれ。1982年、東京大学教養学部卒。同年、第12期日墨交換留学生としてメキシコ、ユカタン自治大学でスペイン語とマヤ・ユカテコ語を学ぶ。1985年、東京大学社会学研究科修士課程修了、1992年、同大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。1996年、千葉大学文学部助教授に就任。2007年国立民族学博物館に異動。人類学的な開発研究を志し、メキシコの先住民集落の貧困問題、日本の政府開発援助の人類学的評価法、ラテンアメリカのカカオ生産者に対するフェアトレードの影響などのテーマで調査研究を行う。2014年より、ラテンアメリカの先住民に関する博物館展示の比較研究を行い、世界の100以上の博物館を訪問。2019年、企画展「アルテ・ポプラル:メキシコの造形表現のいま」(国立民族学博物館)実行委員長。共編著に『ラテンアメリカ』(朝倉書店、2007年)、『ワールドシネマ・スタディーズ』(勉誠出版、2016年)、『古代アメリカの比較文明論』(京都大学学術出版会、2019年)などがある。



【実行委員】

- 齋藤 晃 国立民族学博物館 教授
 松本 雄一 国立民族学博物館 准教授
 小林 貴徳 専修大学 准教授
 酒井 朋子 京都大学 准教授
 日高 薫 国立歴史民俗博物館 教授
 細谷 広美 成蹊大学 教授
 本谷 裕子 慶應義塾大学 教授
 山越 英嗣 都留文化大学 准教授

【お問い合わせ】 国立民族学博物館 総務課 広報・IR 係
 Tel: 06-6878-8560(直通) Fax: 06-6875-0401 E-mail: koho@minpaku.ac.jp
 プレス向けウェブサイト <https://www.minpaku.ac.jp/press>

特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」 広報用画像リスト



【1】 特別展ポスター



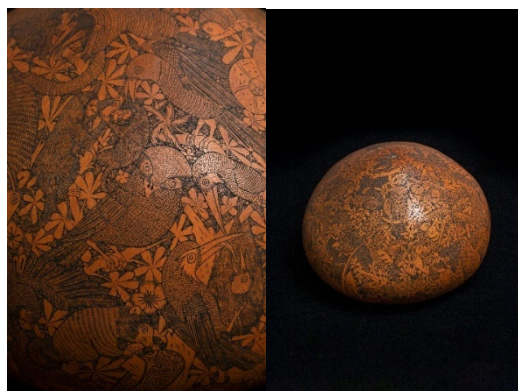
【2】 木彫(ヤギのナワル)/メキシコ合衆国



【3】 モラ(飾り布)/パナマ共和国



【4】 玩具(乗合バス)/グアテマラ共和国



【5】 飾リヒョウタン(ジャングル)/ペルー共和国
※左写真・部分、右写真・全体



【6】 仮面/ブラジル連邦共和国



【7】土人形(儀礼場面)／ブラジル連邦共和国



【8】レタブロ(サボテンの実)／ペルー共和国



【9】アルピジェラ「反テロリスト法に否を2」／
チリ共和国

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、総務課広報・IR係まで次頁申込用紙にてお申し込みください。

資料名につきましては、展示場での表記と異なる場合がございます。

特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」
広報用画像利用申込用紙

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関について】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
所在地 〒	
電話番号	E-mail
ご掲載・放映の予定日 年 月 日	

【プレゼント用招待券】（ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください）

☐ 3組6枚 ☐ 5組10枚

※チケット発送先が上記所在地と異なる場合は、下記にご記入ください。

発送先 〒

【申込先】

E-mail koho@minpaku.ac.jp または Fax 06-6875-0401

【広報に関するお願い】

■ 写真使用に関するお願い、注意事項

・クレジットには次のとおり記載してください。

【1】～【8】（写真：六田知弘、六田春彦）国立民族学博物館蔵

【9】（写真：六田知弘、六田春彦）大島博光記念館蔵

・写真（画像）の過度なトリミングや文字乗せはご遠慮ください。

・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

■ 本館の基本情報等の確認のため、E-mail または Fax にて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。

■ お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。

【お問い合わせ・送付先】

国立民族学博物館 総務課広報・IR 係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
Tel : 06-6878-8560（直通） Fax : 06-6875-0401 E-mail : koho@minpaku.ac.jp